

## 第 15 回 日本視機能看護学会会員情報交換会セミナー交流会報告

■テーマ：【テーマ】

ロービジョンケアにおける看護師の役割について

～ロービジョンケアの問診表のあり方や統一性～

■日時：2023年3月11日（土）14：00～15：30

■参加人数：14 施設 20 名（日本視機能看護学会役員含む）



今回はロービジョンケアにおける看護師の役割について、問診表のあり方や統一性という視点から、それぞれの施設で使用している問診表を事前にご提出して頂き、参加の皆様とともに共有しながら、意見交換会を行いました。それぞれの施設で行われている問診表やその運用についても意見交換が行えた事で参考になったという意見もあり、テーマを絞った意見交換とした事は良かったと感じました。

講師の高橋広先生には、看護師としてのロービジョンケアにおける役割は何かという事も含め、各施設の方が情報共有して下さった問診表の活用についてアドバイスを頂きながら、改めて考える機会を頂き、している活動は何かを大切にし、質問の項目を並べても患者さんごとに聞き方も変わってくることや目的を明確にしていく事でお聞きする内容も変わってくるこの意味について具体的にご教授頂き、考える機会を頂きました。更に、まず看護師として介入する、介入できる場面として入院患者さんへの関わりからはじめていく事がケアを開始するにはイメージしやすいのではないかというアドバイスも頂いたことで、今後実践にむけて前向きな気持ちを持つことができた事を参加後アンケートでも実感する事が出来ました。

意見交換会をきっかけに、ロービジョンケアについてはじめて知った方もおられますが、どの段階の方も今後のロービジョンケアにおける看護師の役割について考える機会となり、1歩を踏み出す気持ちを持つことができておられる事を感じております。

この機会を次に繋げていく事ができるように、皆様からのご意見を大切にしながら、今後も意見交換会を企画していきたいと思っております。

またのご参加をお待ちいたしております。